

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災訓練の実施(年2回)、今後とも火災、地震、水害等の災害に備え、入居者様との生活の中、危機意識持てるように取り組んでいく必要がある。さらに町内会との連携を深め、地域の具体的な協力体制の構築を働きかける。オアシスとして緊急時に出来る事、役割を明確にすることが必要である。なお、備えとして必要物品の備蓄は必要である。	災害対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対応方法を研修、訓練の実施</li> <li>・さらなる消防署との連携。</li> <li>・町内会との連携、訓練参加。</li> <li>・備品リストの作成、管理。</li> </ul>	12ヶ月
2	4	運営推進会議開催時の家族の参加が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族にもっと積極的に働き掛ける。</li> <li>・近隣住民参加を増やし、多様な意見をホームの運営やサービスに反映させていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民(警察、郵便局)に参加していただけるよう依頼していく。</li> <li>・自治体の催しへの参加や、自施設での行事に参加依頼し、活動内容に興味をもっていただき、参加を依頼していく。</li> </ul>	12ヶ月
3	33	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化及び看とりに関する指針に関して。</li> <li>・重度化や終末期支援に対して経験した事がある職員が少なく対応マニュアルを整備しているが全員が対応出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルや介護計画に則って統一された終末期ケアを行うことが出来る。</li> <li>・重度化及び看とりに関する指針の内容を、職員間で共有出来るよう努め、尊厳に十分配慮した終末期の介護を行えるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期についての勉強会をホーム会議の中で取り入れる。</li> <li>・ターミナル研修参加者やターミナル経験者からの伝達講習を行う。(終末期の方が迎える身体的特徴・経過など具体的な内容)</li> </ul>	12ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。